

広報・事務局

オンライン人権セミナー(12/10 国際環境 NGO FoE Japan 主催)参加報告

フィリピンの人権問題

2021年ノーベル平和賞はフィリピンの人権侵害告発のジャーナリストに授与されましたが、ドゥテルテ政権下の超法規的殺害の犠牲者は、人権や環境問題に取り組む活動家やジャーナリストなど1万2,000人から3万人といわれています。昨年9月には国際刑事裁判所 (ICC) がこの大統領の人道に対する罪について、正式な捜査開始を承認しました。犠牲者の中にはミンダナオ島ウボ民族の人権擁護やバナナ農園の農薬空中散布反対運動などで活動していたスララ町のマカババド弁護士も含まれていて、真相究明を求める石井正子氏の署名呼びかけに、当団体も1月15日付で賛同・署名しました。

進まないハッサン殺害の真相究明

私たちの大切なパートナー・ナプサさんの夫で、地元カワスの零細漁民ほか住民の頼りになるリーダーだったジョニー (ハッサン) 村長。村の麻薬容疑者を超法規的に殺害した警察に抗議したのち、自宅に向かう帰路、何者かに銃撃されてから一年半余が経過しました。セミナーでは義姉・長瀬アガさんが遅々として進まない捜査状況を報告、現地からはナプサさんも参加して、一日も早い真相究明への支援要請がありました。

< 11月例会報告 >

コロナ感染がやや落ち着いていた25日に対面・オンライン併用で開催した11月例会。会員・市民のWEB参加申し込みがない中、念のためと、前日にボニファシオの住民組合TBAのボニファシオにメールしたところ、ほぼ時間通りアクセスしてくれました。音声は届きませんでした。こちらからの呼びかけには笑顔で対応、ボニファシオを含む現地パートナーを招いての今後のオンライン報告会開催等の可能性も感じました。



画面左：現地、右：当団体

< お知らせ >

<月例会> *日時：2/24(木)・3/24(木) (10:30-12:00) *場所：本部事務局(対面・オンライン)

<参加予定イベント>

新型コロナウイルス感染拡大につき、対面しての活動アピールやハンディクラフト販売の予定はありませんが、ティナラク織製品に対する個別の購入希望には対応させていただきます。事務局までご連絡下さい。なお、前号でご案内の昨秋10月末開催・鎌倉婦人子ども会館バザーでは、現地縫製ティナラク織小物などをお待ちのリピーターの皆様に大変喜んでいただきました。



ロコミ需要に応じて縫製ボランティア安井さんに作成いただいたポシェット

< 感 謝 >

一般及びクリスマス等用途特定のご寄付、書き損じはがき・未使用切手等のご寄付をありがとうございました！

社員会員、定期支援賛助会員の皆様には、定期定額支援に加えて、上記の各種ご寄附をありがとうございました。

ここでは随時ご協力の賛助会員、及び、市民の皆様のご寄附について、お名前を記載させていただきます。(敬称略)

(個人情報保護のため、ホームページ用にはお名前削除させていただきました)

< 事務局 日誌より >

10/29 月例会 (バザー準備他、佐々木・山崎) 10/30 鎌倉婦人子ども会館バザー参加(山崎) 11/12 ホームページ更新(高山)
11/25 月例会 (高山・中島・佐々木・山崎・ボニファシオ他オンライン参加) /CMIPへ寄付物品送付 12/7 CMIP奨学生現況報告送付作業 12/10 人権セミナー参加 12/23 月例会 (高山・佐々木・山崎) 1/15-25 108号編集作業 (相田・恩田・事務局)

< 会 員 情 報 >

('22.1.22 現在)

<入会>西川雄子 <退会> 社員 1 賛助 6 (ご協力ありがとうございました) <会員数> 社員 33 賛助 162 (うち定期支援 129)

< 会 員 募 集 >

医療や自立事業支援会費：	月額 1,000 円	(年 12,000 円)
教育全体支援会費 (又は小学生奨学金・給食支援)：	月額 500 円	(年 6,000 円)
ハイスクール生徒奨学金支援会費：	月額 1,500 円	(年 18,000 円)
カレッジ学生奨学金支援会費 (新規支援について)：	月額 4,000 円	(年 48,000 円)
チボリ子ども支援 (SCMSI 校支援、里子奨学金)：	月額 2,000 円	(年 24,000 円)

(上記支援会費に加え、運営費充当の月500円を負担いただく社員会員も募集しています)

< 編集後記 >

年明け早々、コロナウイルスとの闘いが再び始まってしまいましたね。対面することが難しい時期だからこそ、Zoomの活用やWEBでの発信など、出来ることを考え進めていきたいです。本年もよろしく願いいたします。(佐々木)